



第243号

発行所 (公社)神奈川労務安全衛生協会 横須賀支部 TEL 845-9522 FAX 845-9510 発行責任者 田代 亘 編集責任者 加々々美けい子

支部報

平成三〇年定時総会開催

去る平成三〇年四月二十五日、市立勤労福祉会館において、(公社)神奈川労務安全衛生協会横須賀支部の定時総会が会員事業所二〇九社中一四一社(委任状含む)の参加のもと開催されました。

本総会には、ご来賓に横須賀労働基準監督署より松山安全衛生課長ならびに神奈川労務安全衛生協会より非常務理事のご臨席を賜り、吉田氏(株)京急油壺マリリンパーク)の司会により開始されました。最初に支部活動に貢献された二名の方に支部長の薦野氏(株)グローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパン)より、労務安全衛生功労賞が授与されました。

司会による総会成立報告の後、松村氏(日産自動車(株)追浜工場)による開会の辞に続き、議長に薦野氏が就任し、さらに書記に宇佐美氏(東邦化学工業(株))ならびに野崎氏(株)ニコン)が選出され、審議が行われました。田中事務局長による平成二九年年度の事業報告の後、高橋氏(株)ニフコ)による収支決算報告で前年度より三九万円以上の事業収益が得られたことが報告され、中澤氏(株)サンテック)から会計監査報告が行われました。続いて平成三〇年度の事業計画と正

支部長就任にあたり



日産自動車(株) 追浜工場 総務部 部長 田代 亘

去る平成三〇年四月二十五日開催の定時総会におきまして、横須賀支部長を拝命することになりました。つきましては支部長就任にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

会員事業所の皆様には、平素より当支部の運営に多大なるご協力を賜り厚く御礼申し上げます。また、横須賀労働基準監督署のご指導とご指示によりまして、各種事業計画が順調に推進できている事を重ねて御礼申し上げます。

さて、私たちの取り巻く情勢ですが、雇用情勢をみると、雇用者数が二カ月連続で大幅に増加したため、失業率は〇・五%と低水準で推移しており、有効求人倍率も、一・五八倍と高水準を維持しています。先行きの展望をみると、景気の回復を受けて雇用情勢の改善が続く見込みであり、人手不足と企業収益の改善を背景に企業が非正社員を正社員化する意欲は高まる方向と予測されています。企業の採用意欲が高まっております反面、少子高齢化の影響を受けて、中高齢者や女性、外国人などの働く方も多様化してきています。このような背景を受け、働く者の安心・安全と健康を守るために、私たちの役割は従来以上に重要なものになっていくと考えています。

第一二次労働災害防止計画は三月末で終了となりましたが、平成三〇年四月現在、横須賀労働基準監督署管内の災害は前年に比べ一・二名、二・四%増の状況であり、芳しくない状態となっています。更なる労働災害

の減少を目指して、新たにスタートした、第一三次労働災害防止計画に沿った活動を最重点課題と位置付け取り組む必要があります。労働災害防止計画は、戦後の高度成長期における産業災害や職業性疾病の急増を踏まえ、一九五八年に第一次の計画が策定されたものであり、その後社会経済の情勢や技術革新、働き方の変化等に対応しながら、これまで一二次にわたり策定されてきました。そして安全衛生活動の目標等を示して取組を促進することにより、我が国の労働現場における安全衛生の水準向上に寄与した計画です。

しかしながら、近年の状況を見ると労働災害による死亡者の数こそ減少しているものの、いまだゼロにはならず、尊い命は失われています。一方、労働災害による休業四日以上死傷者の数は、かつてのような減少は望めず、これまでも異なる切り口や視点での対策が求められています。

また、心とからだの健康及び快適職場作りに向けまして、長時間労働の抑制対策、過重労働による健康障害防止等が求められています。これらを実現していくためには、従来からの取り組みを堅実に実施し環境の変化に即応しながら柔軟に活動内容を進化・発展させていくことも必要ではないかと思えます。

今年には全国産業安全衛生大会が二五年振りに神奈川横浜の地で開催されます。多くの素晴らしい改善事例を聞く事ができ、自社の悩みの解決の一助になると思います。多くの方に参加頂きぜひ素晴らしい大会となるよう一体となって取り組んでいきましょう。まだまだ、厳しい企業努力が続く中、会員の皆様と共に安全で働きがいと生きがいのある職場づくりを目指して、歴代の役員の皆様が積み上げてこ

られた良き歴史を守り、更に横須賀支部が発展できるよう精一杯努めさせていただきます。最後に横須賀地区での業務の経験も少なく、期待にお応えできるのかと不安ではございますが、横須賀支部発展のために横須賀労働基準監督署の皆様と相変わらぬご指導・ご鞭撻と、支部の皆様、事務局の皆様のご指導を頂きながら精一杯努力してまいりますのでご支援、ご協力の程何卒よろしくお願い申し上げます。

受賞おめでとうございます

平成三〇年定時総会において、支部活動に大きく貢献された二名の方に、労務安全衛生功労賞が授与されました。心よりお祝い申し上げます。

労務安全衛生功労賞

(株)サンテック

中澤 朋博 殿



会計、会計監査および企画会議メンバーとして当支部に大いに貢献されました。

日産自動車(株) 総合研究所

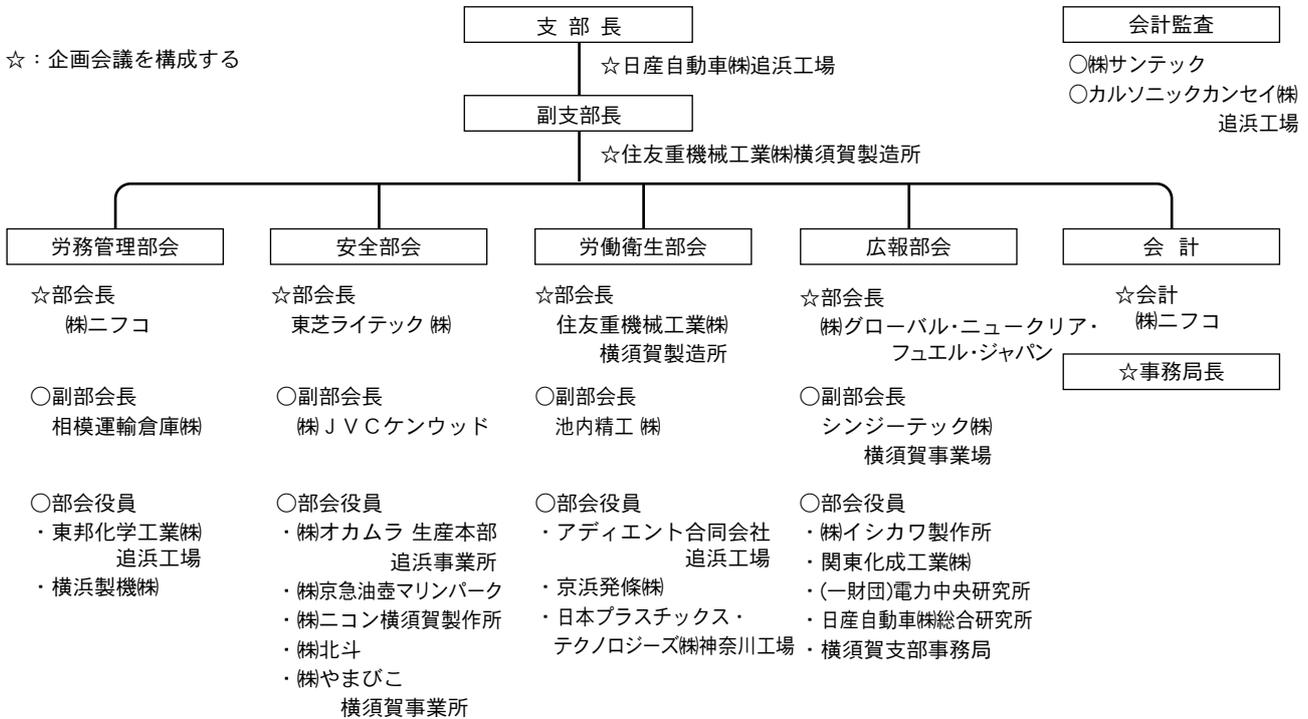
畑山 春雄 殿



支部役員として長年広報部会を担当され、支部報の発行等を通じ、当支部に大いに貢献されました。

(公社) 神奈川労務安全衛生協会横須賀支部役員構成

(平成30年4月～平成32年3月)



労働条件の向上を図る為、労働管理の教育・研修会・講習会等の実施

産業安全の確保を定着させる為、安全の教育・調査研究会・講習会等の実施

労働衛生水準の向上と健康保持増進の教育・研究会・講習会等の実施

会員相互間の見学研修・情報提供を目的とする行事・広報・表彰等、必要事項の推進

役員は全て各部会員となり部会主催行事での支援等で活動されます

事務局だより TEL845-9522 FAX845-9510

《5月～7月行事計画》

- 【5月度】
- ☆安全管理者選任時研修
開催日：5月16日(水)
会場：日産自動車(株)追浜工場 体育館研修棟
 - ☆玉掛け技能講習会
開催日：(学科)5月22日(火) 23日(水)
(実技)5月27日(日)
会場：ヴェルクよこすか及び 池内精工(株)
- 【6月度】
- ☆優良企業見学会
開催日：6月15日(金)
見学先：①花王 川崎工場
②東京消防庁本所防災館 (地震・消火・水害・暴風が体験出来ます)
 - ☆職長安全衛生教育
開催日：6月18日(月) 19日(火)
会場：ヴェルクよこすか

- ☆粉じん作業特別教育
開催日：6月26日(火)
会場：ヴェルクよこすか
- 【7月度】
- ☆危険予知訓練研修会
開催日：7月6日(金)
会場：ヴェルクよこすか
- ☆労務管理講習会
開催日：7月18日(水)
会場：横須賀商工会議所

*ご注意
会場予約・講師の都合により日程を変更する場合があります。詳細はその都度発行される案内をご参照下さい。

安衛協横須賀支部 検索 でHPを確認できます

http://www.roaneikyo.or.jp/shibu/yokosuka/index.html

ご案内

平成30年度 全国安全週間
横須賀地区推進大会

平成30年度第91回全国安全週間(7月1日～7月7日)とその準備期間(6月1日～6月30日)の活動を積極的に推進するため、標記横須賀地区推進大会を下記の通り開催致します。

会員事業所のみなさま多数のご参加をお願い申し上げます。

記

- 日時 6月6日(水) 13:30～16:15
- 場所 横須賀市立勤労福祉会館 (ヴェルクよこすか) 6階ホール
- 主唱 横須賀労働基準監督署
主催 横須賀地区防団団体等連絡協議会



平成三〇年四月一日の人事異動で、横須賀労働基準監督署の職員は次のとおりとなりましたので、紹介いたします。

よろしく願います。
（*が新任者です。）

署長 *湯川 和彦

監督課長 福田 勝巳

労働基準監督官 古谷 寛之

労働基準監督官 *松本 紗和

労働基準監督官 中川 裕大

労働基準監督官 *細田 万椰

労働基準監督官 田上 舞

労働基準監督官 太田 裕輔

労働基準監督官 *高坂 賢一

労働基準監督官 川名 隆憲

労働基準監督官 末弘 隆恵

安全衛生課長 *松山 公紀

安全衛生課長 藤田 知也

労働基準監督官 石綿 大塚たき子

労働基準監督官 計画届審査員 *丸茂 勉

労働課長 木暮 猛

労働課長 松井 智子

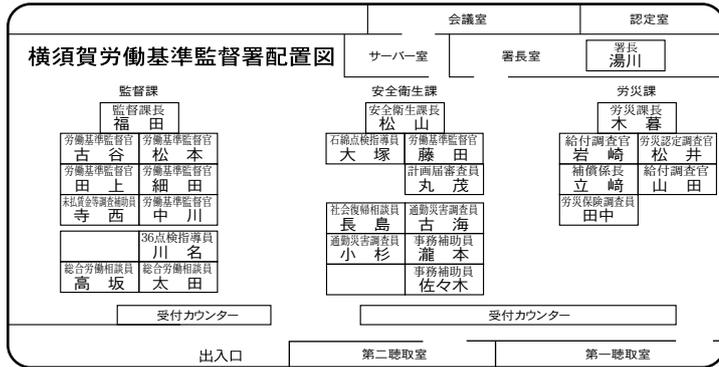
労働課長 *岩崎 貴弘

統計としては、全産業において三七九件と前年（三五七件）に対して二二件、六・二パーセントの増加となり、残念なことに死亡災害も一件発生して一名の尊い命を失う結果となりました。

統制として、全産業において三七九件と前年（三五七件）に対して二二件、六・二パーセントの増加となり、残念なことに死亡災害も一件発生して一名の尊い命を失う結果となりました。

労働災害発生状況

平成二九年における労働災害発生件数が確定しましたのでお知らせいたします。この確定とは、平成二九年の一月〜十二月に発生した休業四日以上労働者死傷病報告について、提出された労働者死傷病報告（様式第二三三号）の受理件数について、統計を作成するに当たっての締切日を設け、統計数値の確定を行ったものです。



死亡災害はもとより、労働災害はあってはならないものであり、各事業場におかれましては、より一層の労働災害防止への取組をお願いいたします。

なお、全国の労働災害統計については、厚生労働省のホームページ http://anzeninfo.mhlw.go.jp/use/r/zenen/fok/toukei_index.html 神奈川の労働災害統計について

は、神奈川労働局のホームページ https://jsie.mhlw.go.jp/kanagawa-roudoukyoku/jirei_toukei/lanz_en_eisei.html により確認できます。

平成29年労働者死傷病報告受理状況(確定)横須賀労働基準監督署

業種	当年 (平成29年)	前年 (平成28年)	増減数	増減率
食品製造	18 (1)	18		(1)
繊維工業				-
衣服その他の繊維				-
木材・木製品	1		-1	-100.0%
家具・装備品	1		-1	-100.0%
印刷・製本				-
化学工業	3		3	-
窯業土石	1	1		-
鉄鋼業				-
非鉄金属				-
金属製品	3		3	-
一般機械器具	1	3	-2	-66.7%
電気機械器具	1		1	-
輸送機械製造	14	15	-1	-6.7%
電気・ガス				-
その他の製造	6	3	3	100.0%
01 製造業小計	47 (1)	42	5 (1)	11.9%
02 建設業				-
土木工事	20	15 (1)	5	- (1) 33.3%
鉄骨・鉄筋家屋	3	9 (1)	-6	- (1) -66.7%
木造家屋建築	5	11	-6	-54.5%
建築設備工事	7	3	4	133.3%
その他の建築工事	15	20	-5	-25.0%
建築工事	24	43 (1)	-19	- (1) -44.2%
その他の建設	4	2	2	100.0%
03 建設業小計	48	60 (2)	-12	- (2) -20.0%
04 運輸交通業				-
鉄道等	3		3	-
道路旅客	31	30	1	3.3%
道路貨物運送	23	20	3	15.0%
その他の運輸交通				-
04 運輸交通業小計	57	50	7	14.0%
陸上貨物	2	4	-2	-50.0%
港湾運送業	1	1		-
05 貨物取扱小計	2	5	-3	-60.0%
06 農業	10	6	4	66.7%
07 畜産・水産業小計	3	3		-
卸売業	4	3	1	33.3%
小売業	36	41	-5	-12.2%
理美容業				-
その他の商業				-
08 商業小計	40	46	-6	-13.0%
金融業	1		1	-
広告・あつせん	1	1		-
09 金融広告業小計	1	1		-
10 映画・演劇業				-
11 通信業	10	7	3	42.9%
12 教育研究	6	7	-1	-14.3%
医療保健業	6	6		-
社会福祉施設	60	45	15	33.3%
その他の保健衛生	2	2		-
13 保健衛生業小計	68	53	15	28.3%
旅館業	2	2		-
飲食店	20	23	-3	-13.0%
その他の接客	9	6	3	50.0%
14 接客娯楽小計	31	31		-
清掃・と畜	20	14	6	42.9%
16 官公署				-
派遣業		1	-1	-100.0%
その他の事業	36	34 (1)	2	- (1) 5.9%
17 その他の事業小計	36	35 (1)	1	- (1) 2.9%
合計	379 (1)	357 (3)	22	- (3) 6.2%

* 各欄左側の数字は休業4日以上の災害件数、右側（ ）内は死亡災害件数（内数）



横須賀労働基準監督署 署長 湯川 和彦 氏

この四月一日付で横須賀署の署長に就任された湯川 和彦氏をご紹介します。

昭和五九年四月に労働基準監督官として採用されてから兵庫局姫路署、山形局村山署、鶴岡署（現庄内署）を経て、平成三年四月に神奈川労働局へ、以降神奈川局内各監

督署と労働基準部の安全課を除く各課で、労働基準関係の業務を主に従事されてきたそうです。

前任地は平塚署で、横須賀署勤務は初めてのこと。着任から日が浅く、現在のお住まいも鎌倉市というところで、横須賀のことはあまりなじみがないようですが、過去に勤務経験のある他の職員から良いところだと聞いて赴任されてきたそうです。

休日には、家族サービスや、のんびり過ごすという湯川署長に、読者へ伝えたいことを伺ったところ、「労働災害を減少させることができれば、日々事業活動に従事し

ている事業者や労働者の方々です。『労働災害はあってはならないもの』という認識を、労使で共有していただき、一体となって労働災害の防止にご尽力を賜りますようお願い申し上げます。」とのコメントをくださりました。

今年度は第一三労働災害防止計画のスタートの年なので、より一層の労働災害の減少を図ってきたいと述べられ、神奈川県内での開催が四半世紀ぶりとなる第七七回全国産業安全衛生大会が横浜市で開催されます。多数の事業場にご参加いただければ有難いです。と締め括られました。（文責 山田）

平成30年度
**新人社員
 安全衛生教育
 講習会開催**



講義される松山安全衛生課長

去る四月一二日(木)横須賀市立勤労福祉会館に於いて、新入社員安全衛生教育が、四〇名の参加者のもと、二名の講師の方が各分野の講義をされ、受講者は熱心に聴講した。

講習会はまず、横須賀労働基準監督署安全衛生課長の松山公紀氏より、「労働基準監督署と皆さんとの関わり(労働基準監督署の業務及び法令等)」と題し、初めに労働基準監督署の役割を監督課、安全衛生課、防災課とそれぞれについて説明されました。

次に、平成二三年の監督指導の状況について話され、約六七%の事業場において何らかの労働基準関係法令違反があること、休業四日以上の上の被災者数は平成二八年が三五七名で平成二九年は三七九名と微増との説明がありました。続いて、安全の考え方について説明され「安全活動を進めるには

幅広い知識を持つていないと様々なことに対応できない」と始められ、「安全とは誰が見ても許容可能な水準に抑えられている状態」と定義されていることや、リスクアセスメントについては、定義とリスク対応の考え方について説明があり①リスクの回避、②リスクの最適化、③管理的対策、④個人用保護具使用の順に進めるのが良いと説明されました。

さらにメンタルヘルス対策について説明され、自分でも気が付かない所でストレスが溜まり、重症になると自分では対応できなくなるので、早めのサポートを受ける事が必要であると説明されました。関連情報でポータルサイト「こころの耳」の紹介もありました。

最後に、これから長い社会人生になりますが、最後まで怪我が無い様にして下さいと結ばれました。



聴講風景

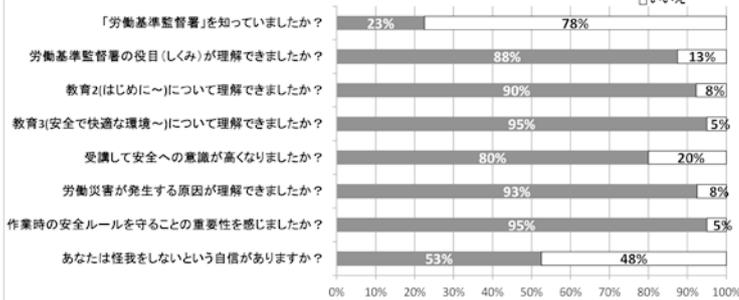
次に、住友重機械工業(株)横須賀製造所の棚橋満氏より怪我や病気をしない為に、七分類に分けて質問形式を交え、講義されました。

「①安全につながる仕事の基本」では安全第一の考え方について説明され、「②職場の安全衛生管理」の項では、災害の分類や安全衛生法の内容も説明されました。「③安全な仕事の基本」「④安全な仕事の進め方」「⑤安全で快適な環境のために」「⑥日常生活でも気を付けよう」「⑦健康に過さず」とそれぞれについての講義がありました。

細かい所までは覚えきれない程に濃い内容を職場で実践しながら事故や災害に遭わないよう、健康で元気に働けることを願いたい。

(文責 畑山)

2018年度新入社員安全衛生教育アンケート結果
※各企業での安全衛生教育の参考にしてください



★ ご婚礼・ご宴会承ります ★

よこすか平安閣

〒238-0041 横須賀市本町 1-4(ベース前)

ご予約、お問い合わせはフロント予約係まで

フリーダイヤル **0120-23-1122**

<http://www.heiankakuyokosuka.com>

お気軽に、ご相談ください!

安全衛生診断・改善指導、安全衛生教育・講演
 化学物質のリスクアセスメント教育等

白須労働衛生コンサルタント事務所

所長 白須 吉男

〒239-0845 神奈川県横須賀市粟田 1-23-10

電話 (FAX) **046-848-2301**

E-mail: yshirasu@jcom.home.ne.jp

デザイン・オフセット印刷・オンデマンド印刷



有限会社 舟津印刷

〒220-0061 横浜市西区久保町31-23

TEL: **045-242-3171**(代)

FAX: **045-241-0478**

E-mail: lei05155@nifty.com

21世紀 企業の発展は
 働く人の健康確保から

50人未満の事業場の事業主・労働者の皆さん 地元の産業医
 による健康保健サービスをご利用ください (無料です)

三浦半島地域産業保健センター

(神奈川県産業保健総合支援センター・三浦半島窓口)

〒238-0005 横須賀市新港町 1-11 (横須賀市医師会館内)

TEL & FAX 046-822-3053